指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名：　福岡県立久留米スポーツセンター及び久留米市中央公園内体育施設等

２　指 定 管 理 者 名：　ふくおかスポーツライフ創造パートナーズ

３　指　定　期　間：　令和５年４月１日～令和10年３月31日

４　施 設 設 置 目 的：　県民の体育・スポーツの普及振興を図り、併せて文化の向上と福祉の増進に資するため。

５　管理運営についての点検結果：　　（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

（１）点　検　方　法：　事業報告書、現地確認･ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果：　別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	○「福岡県総合計画」、「久留米市スポーツ振興基本計画」に沿った運営を行う。 ○県、市の行政機関や競技団体との連携体制を構築する。 ○施設、設備のみならず、接客やサービスにおいてもバリアフリーでホスピタリティあふれる対応を行う。 ○施設に「ご意見箱」を設け、利用者が「相談できる」「意見できる」体制を整備する。	・全従業員に対し、設置目的の確認を日々行い、意識付けを図った。また、入社時全従業員に対し、県及び久留米市の施策及び条例に係る研修を実施した。 ・県及び久留米市と定例会議を実施し、県及び久留米市の施策を反映した運営に努めるとともに、各競技団体と協議を行い、円滑な施設の運営に努めた。 ・「耳マーク」の表示、筆談ボードの設置、車椅子の配備など高齢者や障がいのある方も快適に利用できるように配慮した。 ・施設に「ご意見箱」を設け、利用者が「相談できる」「意見できる」体制を整備した。また、ご意見箱に投函された意見とそれに対する対応を館内入口に掲示し、周知を図るなど、利用者の意見を反映する運営を心がけた。 ・接客技術と気配りの向上に全力で努め、気持ちよく施設を利用してもらえるように努めた。休館日などを活用し、接客接遇研修や利用者に寄り添ったクレーム対応研修を実施した。また、社内ライセンスに則り、指導力向上に向けた研修会を随時開催すると共に、６ヶ月に１度ライセンス認定会を実施した。 ・子どもから高齢者、競技力向上、健康・体力作り等様々なニーズに対応した自主事業を実施した。 ・開館時間について、利用者の希望に応じて柔軟に対応し、提案通り22時までの営業として運営した。 ・トレーニング室において、運動不足解消やダイエットなど、目的別のトレーニングを紹介し、利用者のニーズに応えるような運用を行った。
②施設利用及びサービス向上	○接客技術と気配りの向上に全力で努め、気持ちよく施設を利用してもらえるように努める。 ○子どもから高齢者、競技力向上、健康・体力作り等様々なニーズに対応した自主事業を実施する。 ○地元プロスポーツチームによるイベントを開催する。 ○開館時間について、利用者の希望に応じて柔軟に対応する。 ○トレーニング室において、運動不足解消やダイエットなど、目的別のトレーニングを紹介し、利用者のニーズに応えるような運用を行う。	・令和７年度利用者数 久留米スポーツセンター全体　713,912人 （対前年度比　103.5%　令和６年度689,454名） （対令和元年度比130.2%　令和元年度548,173名） 県有施設のみ　525,746人 （対前年度比　102.3%　令和６年度513,756名） （対令和元年度比130.0%　令和元年度404,542名） ・自主事業では、小学生、一般向けに各教室を企画した。 ・令和７年度自主事業参加者数　延べ35,407人 （対前年度比125.1%　令和６年度28,312人） ・休館日などを活用し、接遇、指導力向上に向けた研修会を実施した。 ・ジュニアスポーツスクールでは皆勤賞を設けるなど、意欲を持って活動できるよう工夫した。 ・高齢者を中心とする基礎体力づくりのプログラムを実施した。 ・地元プロスポーツチームによるイベントを開催した。 ・提案通り22時までの営業として営業時間を延長し運営した。 ・トレーニング室では利用料金の１ヶ月定期券販売を継続実施することで、利用者の確保に努めた。 ・トレーニング室を利用しない人にも体力測定等を実施し、新規利用者の確保に努めた。 ・自主事業やトレーニング室において無料体験を実施し、新規利用者の確保に努めた。
③経営（収支）改善	○メインアリーナ、サブアリーナにおいて、２時間の占有利用枠を継続し、施設の稼働率を高める。 ○トレーニング室の利用料金に月額定期を導入する。 ○開館時間の延長を行い、利用者の確保に努める。 ○トレーニング室を利用しない人にも体力測定等を実施し、新規利用者の確保に努める。また、トレーニング室利用者に対しては、体力測定の記録等を参考にトレーニング効果を説明し、結果を踏まえた次の目標の設定の提案等継続的な利用を施す。 ○自主事業やトレーニング室において無料体験を実施し、新規利用者の確保に努める。 ○設備運転ルールの見直し（空調、照明等の稼働時間の見直し等）を実施し経費の節減に努める。	・22時までの開館時間の延長や、トレーニング室の１ヶ月定期券の販売などにより、利用者の利便性を高め施設の利用促進を図った。 ・自主事業の一環として体力測定を実施し、体力測定結果のフィードバックや運動アドバイスを行うことで利用継続を図った。 ・統括責任者、運営管理責任者、トレーニング室管理責任者、維持管理責任者を配置、また、毎月第３週火曜日の休館日に各責任者（構成企業）で定例会議を実施した。 ・各スポーツ協会加盟団体の教室受入れを実施した。 ・令和７年度利用料金収入 久留米スポーツセンター全体　目標額44,374千円　実績額51,718千円 （対前年度比　101.8%　令和６年度50,782千円） （対令和元年度比137.6%　令和元年度37,580千円） 県有施設のみ　実績額41,183千円 （対前年度比　100.8%　令和６年度40,843千円） （対令和元年度比134.1%　令和元年度30,719千円） ・指定管理料 久留米スポーツセンター全体　199,969千円（対前年度比103.6%、令和6年度192,937千円） 県有施設のみ　99,985千円（対前年度比103.6%、令和6年度 96,500千円）

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
④職員確保方策及び健全な財政基盤	○統括責任者、運営管理責任者、トレーニング室管理責任者、維持管理責任者を配置する。	・支配人１名、副支配人１名、陸上競技場、テニスコート、トレーニングジム責任者を配置し、信頼できる組織体制を構築した。
⑤施設管理上の個別事項	○情報に関するリスクマネジメントと教育の推進を行う。 ○「緊急時対応（連絡）体制」を整備し、指定管理者のスタッフ全員の連携及びスタッフの個々のスキルアップを目的とした安全研修、消防避難訓練を実施する。	・県及び久留米市の個人情報保護条例を理解し、日常的にスタッフに教育を行うとともに、個人情報保護体制を構築し、情報を適正に管理した。 ・避難訓練やAED取扱研修を全職員に行い、個々の職員のスキルアップに努めた。 ・建物管理上必要な法定点検について十分理解し、必要な点検を確実に実施した。 ・情報に関するリスクマネジメントと教育の推進を行い、個人情報、ITセキュリティ、コンプライアンスの教育推進を図った。 ・「緊急時対応（連絡）体制」を整備し、指定管理者のスタッフ全員の連携及びスタッフの個々のスキルアップを目的とした安全研修、消防避難訓練を実施し、完全面に係わる安全研修を実施した。特に、防災訓練に関しては、年２回（8月26日及び1月27日）実施した。

②点検結果

□ Ａ＋ （提案内容を上回った） ○ Ａ （提案内容をやや上回った） □ Ｂ （概ね提案内容どおり） □ Ｃ （提案内容をやや下回った） □ Ｄ （提案内容を下回った）	【総合コメント】 ・県、久留米市、各種競技団体との連携を図り、スポーツの力を活かした地域の魅力づくりに貢献している。 ・プロスポーツのイベントなどを通して利用者の拡大、利用料金収入の確保に努め、県南地域のスポーツ振興に寄与している。 ・22時まで開館時間の延長実施やトレーニング室の１ヶ月定期券販売など、利用者の利便性向上に努めている。 ・「耳マーク」の表示、筆談ボードの設置、車椅子の配置など、障がいのある方も快適に利用できるよう配慮し、公共性の確保に努めている。